

市民が育心 品格と活力のあるまち やしお



農業ニュース

第 45号

●●編集・発行●●
市民活力推進部農政課
(八潮市農業委員会事務局)
八潮市中央一丁目2番地1
Tel. 048(996)2111(内線299)
http://www.city.yashio.lg.jp/
E-mail:nosei@city.yashio.lg.jp

やしお

八潮市農業委員会改選(1~2面・掲載)/園芸協会・青耕会特集(4~6面・掲載)



八潮駅において八潮の野菜をPR!
NHK BS 放送でその様子が紹介されました。
(詳細は最終ページ)

◆ 今号の主な内容 ◆

農業委員会	P 1~2
農政策定関係	P 3
園芸協会	P 4
青耕会	P 5~6
お知らせ	P 7~9



「第40回農業祭」開催決定!

平成26年度第1回農業祭実行委員会(平成26年8月29日)において、第40回農業祭を「やしお生涯学習館」で(品評会・12月6日(土) 農業祭・7日(日))開催することが決定しました。

農業祭(品評会)での栄誉を称える知事賞や市長賞等の表彰式についても、平成27年1月13日(火)に開催が決まりました。農業祭に向け、農業関係者の方々を始め、関係団体の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



第39回表彰式(平成26年1月15日)



八潮市農業委員会改選

八潮市農業委員会は、任期満了（平成23年8月24日〜平成26年8月23日）に伴い、改選が行われました。

8月25日（月）には改選後初の総会を開催し、会長に白倉健一氏・会長職務代理に大塚一宏氏が選出されました。

農業委員は、農業委員会等に関する法律等により、選挙による委員（10人）と選任による委員（7人）で構成されています。

選挙による委員は、満20歳以上で10アール以上の農地につき、耕作の業務を営む方や同居の親族又はその配偶者で年間の農業従事日数が概ね60日以上の方が、選挙権及び被選挙権を有している方です。

選挙は8月9日（土）に実施され、立候補者が10人の定数を超えなかったことから、無投票になりました。

選任による委員は、農業協同組合から1人、農業共済組合から1人、土地改良区から1人、議会から4人の委員が推薦されました。

就任のごあいさつ

会長 白倉 健一

皆様方におかれましては、日頃より農業委員会活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、8月末の任期満了に伴い、改選後初の総会において、委員の皆様から会長の指名を賜り、重責を改めて痛感しているところであります。

さて、本市の農業は、担い手不足や農地の減少などにより、大幅に農業の環境も変化しております。しかし、東京に隣接した立地環境を活かした都市型農業を推進して、農業経営を積極的に行うことが重要であると感じております。

私は、農業委員として、委員の皆さんと協力をしながら、将来のある新しい八潮の農業を構築し、農業委員会の運営を行って参りたいと考えております。

結びに、本市の農業の振興のために微力ながら邁進して参りたいと考えておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

選挙委員10人、選任委員7人の新たな農業委員が決まりました。

就任のごあいさつ

会長職務代理 大塚 一宏

8月の改選に伴い、委員の皆様方の推薦によりまして、会長職務代理の重責を賜り、微力ながら本市の農業振興のため、務めさせていただくことになりました。

地域の農業者の代表として皆様のご協力を賜りながら、会長と共に委員会運営に尽力して参りたいと考えております。

さて、国の規制改革会議では、農業分野において、農協や農業委員会の見直し等を打ち出し、来年の次期通常国会で法律の改正案を上程とのことです。

国の状況を踏まえますと、農業委員の役割や選出方法も大きく変わり、現在の委員は、将来の委員会の土俵作りの役割を担っていると感じております。

近年の農業の状況は、農業従事者の減少、高齢化が進んでおり、休耕地等が発生しないよう、耕作する担い手農業者の育成や、新規就農者等の確保が農業委員の役目であると考えております。

私も農家の皆様と共に役割を全うして参りたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

農業委員会の主な仕事

- ・農地等の権利移転、農地転用等の農地法関係
- ・相続税・贈与税納税猶予制度関係
- ・農業者年金制度関係
- ・農地に関する各種証明業務



農業委員会のホームページをご利用ください！ 各種申請様式がダウンロードできます。

→<http://www.city.yashio.lg.jp> ホーム>行政組織別検索>農業委員会



八潮市農業委員会委員紹介

農業委員会は「農業委員会等に関する法律」に基づいて市町村に設置される行政委員会です。
 農業委員は農業委員会を構成する委員で、非常勤の特別職の公務員です。

顔写真

議席番号、氏名
 (担当地区)
 【選挙・選任の別】



4. 小倉 重治
 (上木曾根・下木曾根)
 【農業共済推薦】



3. 市川 俊之
 (上二丁目)
 【農協推薦】



2. 大塚 一宏
 (高木)
 【選挙】 会長職務代理



1. 臼倉 健一
 (上大瀬・下大瀬)
 【議会推薦】 会長



8. 石井 文男
 (入谷)
 【選挙】



7. 小林 よし
 (鶴ヶ曾根一・二)
 【議会推薦】



6. 小倉 茂
 (大曾根東・中・西・浮塚)
 【選挙】



5. 小澤 榮三
 (伊勢野・圀)
 【選挙】



12. 恩田 政幸
 (下二丁目)
 【選挙】



11. 田中 武雄
 (東・西古新田)
 【選挙】



10. 小早川 喜一
 (西袋・柳之宮・南後谷)
 【選挙】



9. 小倉 孝義
 (上・中馬場・大原)
 【選挙】



17. 渋谷 稔
 (新田・若柳)
 【議会推薦】 (新)



16. 横山 正和
 (南川崎)
 【選挙】 (新)



15. 大野 ヒロ子
 (和耕)
 【議会推薦】 (新)



14. 宇田川 武雄
 (幸之宮)
 【土地改良区推薦】 (新)



13. 豊田 幸司
 (小作田・松之木・伊草)
 【選挙】



はじめに

本市の農業は、都市化の波で減少しつつも、首都近郊の農業として重要な役割を果たしています。かつて、昭和40年代までは市内のほとんどが水と緑の豊かな農地景観が広がる地域でありましたが、平成17年のつくばエクスプレスの開通後、市内の農地は、住宅地へと変わり急激に減少しました。



平成25年の本市の農業環境は、農地面積155ha、10a以上の農地所有農家戸数は418戸と昭和60年に比べ、農地面積、農業者人口ともに半減してしまいました。

また、稲作の基盤である農業用排水路の水利機能の低下により、現在では、畑作を中心に「小松菜」などの軟弱野菜や「枝豆」などの施設栽培^{※11}へと転換が図られてきました。

この様に本市の農業の形態は、都市型農業^{※18}に変化しており、東京に隣接した立地環境を活かし、企業の経営感覚をもった農業後継者の育成と効率的で付加価値の高い農業経営を積極的に推進する必要があります。

さらに、有機農法など自然環境や健康への安全性に配慮した農業の確立が求められており、環境にやさしい農業生産技術の導入や消費者の安心を確保するトレーサビリティ・システム^{※19}の向上、農商工連携による6次産業化^{※28}の開発や販路の拡大などの流通面の対策も行う必要があります。

近年は、農地のもつ多面的機能も社会的に再評価されてきており、「八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例」に基づく「ガーデンコミュニティ制度^{※4}」による援農^{※2}や農地保全への理解も深め、各種イベントを通じて地産地消^{※16}や農業に親しめる環境づくりの拡大に努めております。

都市近郊における農地は、都市と自然の調和、新鮮で安全・安心な農作物の生産、市民農園などの農業体験、環境や景観の維持、災害時の避難場所などの様々な役割を担っており、人と農地の問題を含め、都市と共生する農業は非常に重要であります。

これらの状況を踏まえ、市民との共生と協働による「環境にやさしい魅力ある農の活力が実感できる」都市型農業の実現を目指して、平成26年度からの5年間を計画期間として、ここに「八潮市都市農業振興基本計画」を策定し、農業の支援と振興に努めてまいります。

最後に本計画の策定にあたり、ご意見を賜りました八潮市農業再生協議会、八潮市環境保全型農業推進協議会及び農業関係団体、農業者関係各位のご協力に心から御礼を申し上げます。

平成26年3月

八潮市長 大山 忍

八潮市都市農業振興基本計画策定！
(平成26年3月 初の農業政策を策定しました)

八潮市都市農業振興基本計画



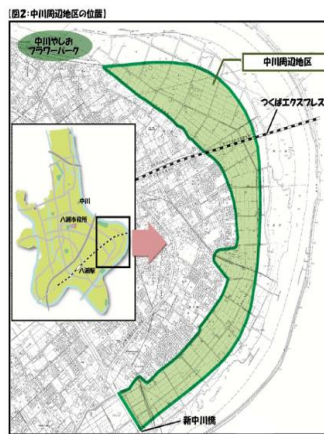
本計画は平成26年度(2014年度)から平成30年度(2018年度)の5年間を計画期間として、「環境にやさしい魅力ある農の活力が実感できる都市型農業」を目指し、初めて本市の農業政策を定めました。
*本記事は計画策定の紹介のみです。(詳しくは農政課へ)

八潮市 人・農地プラン 策定！

(平成26年3月)

「人・農地プラン」は、地域の高齢化や農業の担い手不足が心配される中、5年後、10年後までに、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのか、地域の話し合いに基づいてとりまとめるプランです。

本市は中川周辺地区(二丁目・木曾根・南川崎等)の内、約30haの市街化調整区域を人・農地プランの策定地域と定め、JA さいかつとの連携を図りながら新たな農業経営体や担い手の育成を促進します。



八潮市農産物直売所マップ

を作成！

(平成26年3月)



農産物直売所マップを一新！「やしおの八つの野菜」の紹介をはじめ、市内の直売所や農業イベント、農園など、これ1枚に情報を凝縮。マップは市役所の農政課窓口、ホームページにも掲載されておりますのでご覧ください！

*平成26年6月19日 東京新聞で紹介されました！

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想を改正！

認定農業者等の経営規模要件軽減(詳しくは農政課へ) (平成26年9月)

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い本市の基本構想を一部改正しました。

こちらの詳細はホームページをご覧ください！ →<http://www.city.yashio.lg.jp> ホーム>行政組織別検索>農政係



就任のごあいさつ

都中農業振興に向けて

会長 福岡 清則

先の総会におきまして、田中前会長の後を引継ぎ、就任いたしました福岡でございます。

現在、園芸協会の会員も高齢化が進み、後継者不足による休耕地の増加、都市化による農地の減少等、多くの問題を抱えておりま

八潮市園芸協会 就任おはつ

す。今後の園芸協会の取り組みとして、後継者の育成、新規農業者の受け入れ等、八潮の農業維持のため取り組んでいきたいと思

います。また、都市近郊としての立地条件を活かし、農商工連携による野菜のPRイベントや直売の充実等、まだまだ八潮の農業の発展は無

限であると思

就任のごあいさつ

会員の皆様へ

副会長 大山 定夫

今年度より、八潮市園芸協会副会長を務めさせていただきます大山です。私は、小松菜などの施設園芸のほか、ねぎ、枝豆、ほうれん草など路地野菜を栽培して

います。八潮の農業も都市化が進み、農業経営の環境も大きく変わっています。

八潮市園芸協会の会員の皆さんも、多くの人たちが集まり、いろいろな情報交換ができて、有意義であると考えています。私も、会員の一人として、これからも皆様方と協力をし、頑張つてまいりたいと思

就任のごあいさつ

農業の発展に貢献を

副会長 遠田 博幸

今年度より、園芸協会の副会長を務めさせていただきますこととなりました遠田です。

昨年度までは、青耕会を中心に活動してまいりましたが、今年度からは、福岡会長、大山副会長と共に農家の皆様と園芸協会

で活動してまいります。市内には多くの農業団体があり、その中でも最古参にあたる園芸協会の役員であることは、大変な重責であると痛感して

おります。八潮市の農業は、駅の完成に伴い市街化がさらに加速し、めまぐるしく変化していると思われま

らしい環境だと思われま

す。今年度の目標は、年間行事の見直しとともに今まで好評だった行事は、継続し、役員会などの時間帯などを改善して役員が動きやすいように活動していけたらと思

います。また、他団体との交流を通して情報交換して

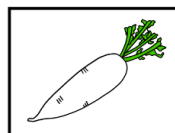
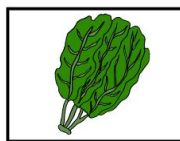
いけたらと思



第6回夏野菜旬採り合戦 (平成26年7月19日)



先進地視察研修 (平成25年10月9日) アライ園芸





就任のごあいさつ

喜びのこぼれを青耕会を目標として

会長 臼倉 明久

私は、今年度より青耕会の会長を仰せつかりました臼倉と申します。

青耕会では副会長として5年間務めてまいりました。改めて、身を引き締まる思いであり、三ヶ島・恩田両副会長とともに、一杯頑張つて参りましたと考えております。

現在、私は中川周辺地区(二丁目、木曾根、南川崎等)地域における農地景観プロジェクト会議に参加しています。現在は貴重な農地景観保全について話し合いを進めている段階です。

八潮市青耕会 就任あいさつ

このプロジェクトは、八潮市らしい魅力ある農地景観を守り、人々の地域交流の場の創出を図ることを目的としています。

農業後継者不足による休耕地や資材置場が増加している中、学生と地域農地指導者で、落ち葉を畑にすき込み土作りをし、ジャガイモを植える取り組みがありました。水捌けや



土壌の状態が悪く、収穫出来たジャガイモは、少量と残念な結果になってしまいました。今回の経験を次回に活かし、豊作の喜びを知って頂きたいと思っていました。

景観に関しては、不法投棄されている場所もあるため、農家自らによる農地パトロールを強化し、不法投棄されにくい環境づくりをして、美しい景観が維持できる対策も必要です。

また、街灯を増やし、夜間でも安心してウォーキングなどが出来る環境をつくることは、市民の健康促進にもつながると考えています。



市民まつり (平成25年10月27日)

就任のごあいさつ

一年目青耕会副会長

副会長 三ヶ島 幸生

青耕会副会長2年目の三ヶ島です。私は、青耕会に入会し、16年になります。20才で入会した頃は、総会になれば会場一杯になる程の会員でした。私が副会長になる今では、会員数20名少々の規模ですが、少数精鋭で歴史ある八潮市青耕会を続けていきたいと思っております。

これからを考えますと、事業を継続できる事業とそうでない事業を分けただ上で、会員相互の意識を集中できる様な体制をつくり上げていきたいと思っております。

近々の目標として、八潮市青耕会50周年事業があります。50年を区切りとして、歴史を振り返り、多くの先輩方の知恵を借りながら、頑張りたいと思っております。

年間を通して、会員の皆様には、食育事業、レクリエーション事業、市民祭り、農業祭など青耕会事業にご参加いただきありがとうございます。

これからも皆様のご参加、ご支持をいただける青耕会であるよう、副会長として頑張つていきます。今後とも宜しくお願い致します。

中川周辺の農地保全のメリットは、異常気象が原因で洪水被害や浸水被害が年々多発している中、農地は雨を吸収し、被害が軽減され災害時には避難場所として利用できる点です。交流のできる空間をPRし、より安心・安全な魅力ある中川周辺農地景観となる様に、これから検討していきたいと考えています。

最後になりますが、皆様に喜んで頂けるような青耕会活動が行えるよう精一杯努力してまいります。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。



保育所訪問食育活動 (古新田保育所)
(平成26年6月24日)

就任のごあいさつ
食育の必要性
副会長 恩田 圭幸
今年度より副会長として大役を仰せつかることとなりました恩田でございます。よろしくお願ひいたします。
さて、食は人間が生きていく上で基本的な営みの一つであり、健全な食生活は欠かせないものであります。食育は、成長期にある子どもにとって、健全な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすもので、極めて重要です。
食育は、本来家庭が中心となつて行うのですが、食生活の多様化が進む中で十分な指導を行うことが困難な状況であるため、学校、家庭、地域が連携して子ども達への食育を

現在、青耕会では市内全保育所を対象に、保育所内にて小松菜をプランターで栽培し、収穫するまでを子ども達と一緒に学んでおります。出来るだけ多くの子どもの土に触れてもらい、食物を育てる楽しさを知ってもらいたい。そして、小松菜が苦手な子どもも自分達の蒔いた種が育つたということ、普段より少しでも美味しく感じてもらえたら嬉しく思います。
また、食育活動の一環で小学校に行つた際、子ども達がとても熱心に話を聞いて、色々な質問をしてくれました。どんなことであっても興味を持ってくれることは生産者としてとても嬉しく思います。私達が口にする食べ物には簡単に育つわけではなく、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力を支えられ、全て自然の恩恵の上に成り立っています。
食育活動を通じて、子ども達に食物を大切に作る心、感謝する心を持つてもらえたら未来の農業発展に繋がると感じております。
結びに、多くのことを通じて皆様と一緒に青耕会活動に励んでまいりたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

【八潮市の農産物の放射能濃度測定結果】

平成23年4月～平成26年9月

品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数
1	あさつき	1	18	さつまいも	2	35	ねぎ	23
2	あゆたで	1	19	サニーレタス	1	36	白菜	5
3	いんげん	1	20	山東菜	1	37	はぐらうり	1
4	うり	2	21	しいたけ	1	38	姫冬瓜	1
5	枝豆	14	22	じゃがいも	4	39	びわ	1
6	おくら	1	23	ジャンボレモン	1	40	ふき	3
7	柿	4	24	春菊	2	41	ぶどう	2
8	かぶ	5	25	白瓜	1	42	ブロッコリー	13
9	かぼちゃ	4	26	スナップえんどう	2	43	米ナス	1
10	からしな	2	27	ダイコン	14	44	ハウレンソウ	17
11	カリフラワー	6	28	たけのこ	3	45	ほおづき	1
12	キウイ	1	29	玉ねぎ	5	46	みかん	1
13	キャベツ	5	30	冬瓜	9	47	ミニトマト	3
14	きゅうり	18	31	とうもろこし	1	48	芽カブ	1
15	ゴーヤ	2	32	トマト	6	49	ラディッシュ	1
16	小カブ	1	33	ナス	12			
17	コマツナ	135	34	菜の花	2			

計344 回

*平成24年3月から測定している八潮産農産物の放射性ヨウ素/放射性セシウム134と137は全て基準値内です。



ダイズシストセンチュウ対策

春日部農林振興センター

農業支援部 担当部長 加藤雅之

八潮市の特産野菜「えだまめ」の重要害虫にダイズシストセンチュウがあります。

ダイズシストセンチュウは、発生の確認が困難なため、有効な防除がされにくいことが一番の問題です。

効率的な防除をするためには、発生量の正確な把握が必要になります。そこで東京農工大学が開発した締め固め法[※]を利用して、センチュウの要防除水準を策定することにしました。

また、緑豆などでセンチュウを誘殺できることが確認されており、現地での実用化を目指して実証を行いました。



ダイズシストセンチュウ被害株



エダマメの根に寄生したシスト

この取り組みは、東京農工大学をはじめ、八潮市、JAさいかつ等、関係機関、団体と協力して進めており、成果を取りまとめています。

この成果の普及により、えだまめの生産安定、産地の発展に寄与出来るものと確信しています。地域で力を合わせて特産野菜「えだまめ」の産地強化をしていきたいと思います。

(注)締め固め法[※](土壌を圧搾してDNAを抽出し、リアルタイムPCR法によりDNA量を測る方法で、専門家がなくても短時間で正確にセンチュウを定量出来ます。)



【埼玉県の農産物の放射能濃度測定結果】

平成23年4月～平成26年9月

品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数
1	稲わら	1	6	サトイモ	1	11	ホウレンソウ	2
2	カブ	1	7	サントウサイ	3	12	ミズナ	1
3	カリフラワー	1	8	ダイコン	3	13	もみから	1
4	コマツナ	25	9	ナス	3	14	田んぼ・土壌	2
5	米	5	10	ブロッコリー	4	15	畑・土壌	1

埼玉県の分析機関：財団法人 日本冷凍食品検査協会 横浜試験センター 計54回
一般財団法人 新日本検定協会 SK横浜分析センター

●放射性セシウム基準値 (単位：ベクレル/kg)

- ・飲料水 10
- ・牛乳 50
- ・一般食品 100 農産物
- ・乳児用食品 50
- ・土壌資材等 1000

●八潮市農産物分析器

- ・検査機器：NaI (TI) シンチレーションスペクトロメータCAPTUS-3000A
- ・測定容器：500CCマリネリ
- ・測定時間：1200秒

埼玉県により、市内の田んぼと畑の土壌測定を実施した結果、土壌中の放射性セシウムは、全て基準値内でありました。

*測定の結果は、県及び市のHPで公開していますのでご覧ください。





遊休農地を解消しましょう

遊休農地は、農業者の高齢化・担い手不足などに伴い年々増加する傾向にあります。農地として適切に管理されていないと、雑草や病害虫の発生により周辺農地に悪影響を与え、火災や防犯上の危険を及ぼします。

農業委員会では農地のパトロールを実施しております。一度荒廃させてしまうと、良好な農地に戻すことは大変ですので、周囲の農地に迷惑をかけないように適切に管理しましょう。



市民が土とふれあいながら農業に対する理解や農業者との相互交流等を図るため、農業者が設置する農園です。開設を希望する農地所有者の方に対し、農園整備費の一部を市が補助します。

ふれあい農園経営者募集

補助要件

1. 面積 (1農園あたり、概ね10a以上)
2. 区画 (15㎡以上(3x5m))
3. 期間 (5年間は設置後継続)
4. 付帯設備 (トイレ・手洗い・物置・棚など)
5. 補助 (事業費の1/2以内で、限度額は75万円)



ガーデンコミュニティ制度参加者募集

条件

耕作などの協力を受ける(体験農園・援農者)希望する農地所有者は、市に登録し、援農などの協力者も市に登録し、お互いに協定が結ばれば本助成の対象になります。

1. 500㎡以上、1,000㎡未満 50,000円
 2. 1,000㎡以上 100,000円
- (但し、3年間です。) 詳しくは、農政課農政係まで



八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例に基づき、ガーデンコミュニティ制度を利用する農地所有者と市民などの協働により、農地の利活用を図るものです。



街なかの生活空間にやすらぎを創出するとともに、農地の保全を図ることを目的に実施。

街なかやすらぎ緑空間創出事業募集

現在、市内4ヶ所に設置されており、設置の際、予算の範囲に限度額内で補助金を交付しております。

八潮市鉢の会入会者募集



緑化の推進及び鉢物の技術向上、交流・振興を目的に昭和47年に農家の鉢物愛好家で発足し、春にはさつき、秋には菊・盆養、切花など、メセナの展示室で展示会を開催しています。

以前は、農家の軒先でさつきや菊が数多く見られましたが、現在は農家の方の鉢物愛好家は減ってしまいました。

特に農家の皆様で興味のある方は、是非入会をお待ちしております。

農薬は正しく使いましょう

～ 安全・安心な農産物を生産するために ～

農薬のラベルを確認し使用基準を守り、周辺への飛散防止対策や農薬の使用状況は記録しておきましょう

ポジティブリスト制度(平成18年)が施行され、農薬の使用方法が厳しく制限されています。基準以上の残留農薬が検出され、出荷停止となると、当事者に限らずその地域の農産物も風評被害をこうむるおそれがあります。



農家戸数及び農地に関する申告状況一覧表 平成25年8月1日現在

(単位: m²)

地区名	農家戸数 (10アール以上耕作)	農地(耕作地)						合計
		市内(市街化区域)		市内(調整区域)		市外等		
		田	畑	田	畑	田	畑	
八条	140戸	1,811	22,662	291,672	286,869	102,047	4,945	710,006
潮止	205戸	16,580	469,255	8,059	254,476	191,742	20,886	960,998
八幡	72戸	10,574	178,367	5,986	3,742	139,999	15,645	354,313
計	417戸	28,965	670,284	305,717	545,087	433,788	41,476	2,025,317

農家戸数と耕作面積の推移

年度	農家戸数 (単位: 件)				耕作面積 (市外含む) (単位: m ²)			
	八条	潮止	八幡	合計	八条	潮止	八幡	合計
平成18年	153	209	92	454	783,215	1,084,030	459,365	2,326,610
平成19年	151	209	91	451	760,446	1,050,257	443,969	2,254,672
平成20年	151	207	89	447	754,811	1,027,372	414,298	2,196,481
平成21年	144	204	81	429	717,016	1,010,957	387,951	2,115,924
平成22年	142	203	81	426	698,169	997,219	374,026	2,069,414
平成23年	146	207	76	429	702,183	998,700	362,245	2,063,128
平成24年	142	206	76	424	697,910	976,091	358,003	2,032,004
平成25年	140	205	72	417	710,006	960,998	354,313	2,025,317

☆農地法による農地転用

農地転用状況 (平成25年1月~12月処理)

農地法	許可(市)	許可(県)		届出受理		通知
	第3条	第4条	第5条	第4条	第5条	第18条
件数 (単位: 件)	5	0	6	46	145	0
面積 (単位: m ²)	5,266	0	3,895.9	25,976.96	63,492.17	0

農業者年金 にご加入しましょう

- 1 農業者年金は長い老後を安心して暮らせるための公的年金です。
- 2 積立方式の長期的に安心した年金制度です。
- 3 農業に従事する人が広く加入できます。
- 4 意欲ある担い手に保険料助成します。
- 5 80歳まで保証がついた終身年金です。
- 6 保険料が自由に選択できます。(月額2万円が基本)

詳しくは農業者年金基金のホームページをご覧ください!

全国農業新聞

農業者の視点でお届けします。

発行日: 毎週金曜日

購読料: 1ヶ月600円(税込)

申込: 農業委員会 事務局まで



表紙の紹介 「八潮駅で八潮の野菜をPR」

県内を走る鉄道乗り継ぎ、鉄道と埼玉の魅力を再発見しながら、「鉄どーもくん」を探すスタンプラリーの「鉄どーもくんを探せ! 2014~埼玉・鉄道の旅~」で、八潮駅が紹介されました。

コラボ企画としてNHK BSプレミアム『おとうさんとっしょ』のロケが平成26年7月11日に八潮駅で行われ、八潮市直売所連絡協議会の星野 仁会長が、八潮の新鮮野菜を紹介。歌のお姉さんも「とってもおいしい!」と感激していました。